

科目区分	専門教育科目	科目名	保育者論		科目コード	18Y370	担当者	船勢 肇			
対象学生	幼児教育学科 2年生		学期区分	後期	単位数	2	担当形態	単独			
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等			卒業要件	選択				
			教育の基礎的理解に関する科目			免許・資格要件	幼稚園教諭必修、保育士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
幼児や社会から求められる保育者の役割などについて事例などを参考に、その立場に立った自分を思い描き、自分なりの保育者像を考えてゆく						1. 「 尽心 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 創造 」 高度な知性と創造力	3. 「 実践 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表現考・判断力	⑤ 実行体力性・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	保育職の意義や保育者の役割を理解する					◎	○	○	◎	◎	○
2.	保育の仕事や研修の必要性について理解する										
3.	社会で求められる保育者について考察する										
4.	目指す保育者像を考察する					◎	○	○	◎	◎	○
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						提出物（40%） 定期試験（60%）					
配布する資料・映像を用いながら講義を行う。ディスカッションではグループで討論経過を報告します。											
準備学修						課題等への対応					
子どもに関わるニュース等に積極的に触れてください。また、根源的な問いである「保育者とはどのような存在か?」について常に意識し、自らの目指す保育者像について考えてください。						レポート等の課題については、適宜添削する。					
授業計画											
第1回	授業説明、オリエンテーション										
第2回	保育者の役割										
第3回	保育者の倫理										
第4回	保育者の資格と責務										
第5回	擁護と教育										
第6回	保護者の資質と能力										
第7回	専門的な知識・技術・判断										
第8回	保育の省察										
第9回	保育過程にかかわる保育者の専門性										
第10回	保育者の専門性と自己評価										
第11回	園での協働										
第12回	専門機関との連携										
第13回	保護者および地域社会との協働										
第14回	家庭的保育などとの連携										
第15回	まとめ										
試験	定期試験										
教科書	資料を配布します					受講生へのメッセージ 自分の目指す保育者はどのような存在なのか、自分の思い、考えを確かめていきましょう。ディスカッションやフィールドワークでは積極的な参加が求められます。グループの仲間と協力して受講して下さい。保育者として責任ある態度で受講すること。授業中の私語等、「先生」と呼ばれる者に相応しくない受講態度については、厳しい姿勢で臨みます。保育者を目指す者の自覚と覚悟を持って受講して下さい。					
参考書等	『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』『認定こども園教育保育要領』										